

経営のヒント42 氷煮三国志の逸話」

～～～全力を尽くしてみたかを考えてみる！～～～

前回にご紹介した「氷煮三国志」の中の逸話です。気に入ったので、ご紹介します。

劉備はキャンパス内のグラウンドでぼんやりしていた。

ふと顔を上げると、ちょっと離れたところに穴があることに気づいた。男の子がひとり、プラスチックのスコップを使って砂で道路をつくっている。穴のそばにはおもちゃの車が転がっている。

小春日和の日差しが、男の子の動きに合わせて影を映している。砂を、道路や橋、トンネルに変えていく。しばらくすると、スコップに硬いものがぶつかったようだ。大きな石だった。

ちょっと考えてから、男の子は石の周りの砂を掘り始めた。石の形がハッキリと現れると、今度はそれを運び出そうとして持ち上げてみた。

しかし、男の子が持ち上げるには少し重すぎるようだ。なんとか穴の縁まで運べたが、それ以上はどうすることもできない。何度も何度も力みながら石を穴から取り出そうとするが、少し移動するだけで、またすぐに穴に転がってしまう。

男の子はそれでもあきらめない。

大きな声を出しながら穴の縁まで運んだところで、男の子の足の上にごろんと転がってきた。男の子は痛さのために泣き出した。

劉備は立ち上がって近づいていくと、穴の前にしゃがみこんで声をかけた。

「ボク、その石を穴から出したいの？」

「うん。でも……どうしてもできないんだ」

男の子は泣きじゃくっている。

「全部の力を出したのに……できないの」

「全部の力を使っていないよ。だって、お兄ちゃんに『手伝って』と言ってないでしょ？」

劉備は、穴の中から石を運び出した。まるで自分の心の中の『吠きな石』を運び出すかのように。

劉備は寮に戻ると真っ先に机に向かった。そして、ノートを開き、片方のページにこれまでにあった困難を書き出し、その反対側のページに自分の能力や人脈など、彼が使えるあらゆることごとを書き出してみた。こうして左右のページを交互に見ることで、劉備を取り巻く問題の有効な解決策が発見できることに気づいた。

その日寝る前に、彼は日記に次のように記した。

これから解決困難なことに遭遇したり、悲観的になったときは、あの石のことを思い出そう。そして、本当にすべての力を尽くしたかどうか？」を心に問いかけてみよう。

いかがですか？あなたは「本当に全力を尽くしていますか？」

?? 改めて、考えさせられました。

「努力」と「創意工夫」

研修では、よくこの違いをよく言っておりますが、もっと重要なことが……あったのだ！

「一生懸命やりました！」

「頑張りました！」

それは、全ての力を出し尽くしたとは……違うんだな！

人の力を借りる！その為には、覚悟・決意が必要なんですね。

「為せば成る、成らぬは人の為さぬ成りなり」